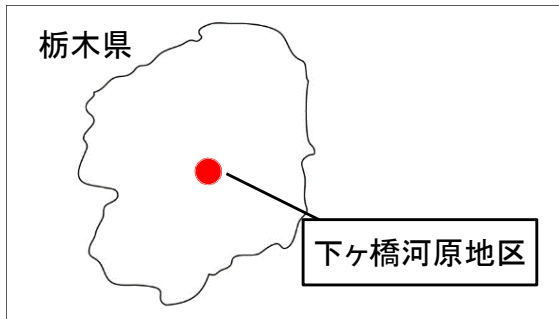


## 圃場整備を契機とした営農組合設立と環境配慮の取組(下ヶ橋河原地区)

【河内農業振興事務所 宇都宮市】

## 【取組地域の概要】

○位置  
栃木県宇都宮市

下ヶ橋河原地区

- 事業名 県営圃場整備事業
- 工期 H6～H21年度
- 受益面積 140.1ha  
(水田：132.5ha、畑：7.6ha)
- 主要工事 区画整理：140.1ha
- 総事業費 1,802,000千円円
- 関係土地改良区 西鬼怒川土地改良区
- 主要作物 米、麦、飼料用米、たまねぎ、いちご、にら等
- その他の支援施策  
・多面的機能支払交付金 (H19～)

## 区画整理や客土により生産性が向上

農地の大区画化や道路、用排水路が整備されたことで、水田の汎用化や労働時間や維持管理の手間が短縮され、担い手への集積が図られた。また、受益者へのアンケートでも営農時間短縮や用水の安定確保等の効果を実感しているとの高評価を得ている。



基盤整備  
(H6～18)

## 【整備前】

農地は面積が小さくかつ形が悪く、道路は狭く、土水路のため漏水が多く、効率的な営農が困難な状況であった。



## 生産基盤

## 営農組合設立による経営規模拡大

- 担い手農家2人に加え2つの営農組合が設立され、地区内農地集積率が7.7%から27.0%に向上した。
- 地域の担い手が中心となりH27に営農組合を設立、作業受託を含め約48haを経営するに至った。

## 生産現場

## 多面的機能支払交付金の活用

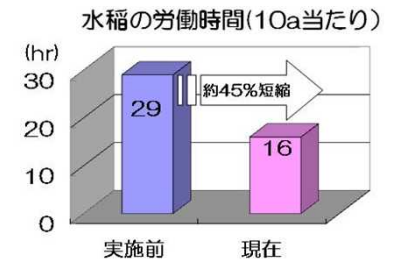
- H19から多面的機能支払活動に取り組み、地区内水路の維持保全を行っている。
- 冬期には地区内を流れる防火用水を活用し、冬水田んぼに取り組んだ。毎年多くの白鳥が飛来するようになり、訪れる見学者も増え、地域住民の水利施設や環境の保全への取組にもつながっている。



## 地域の取組

## 生産基盤整備による営農の効率化

- 農作業に係る労働時間の短縮  
・農地の大区画化により、大型機械の導入が可能となり、水稻の労働時間が約45%短縮された。



- 維持管理の軽減  
・水路や農道の整備により、水路の堀ざらいや草刈り等の維持管理費が実施前に比べ年間約75%軽減された。

